



平成 23 年 12 月 26 日

各 位

会 社 名 ラオックス株式会社  
代 表 者 名 代表取締役社長 羅 怡文  
(コード番号 8202 東証第 2 部)  
問 合 せ 先 広報 IR 部長 山崎 陽子  
(TEL 03-6859-3802)

### 子会社の業務提携に関するお知らせ

当社 100%子会社である楽購仕（南京）商品採購有限公司（以下、楽購仕（南京）商品採購）は、蘇寧電器股份有限公司南京採購中心（以下、蘇寧電器採購中心）および南京雨花蘇寧電器有限公司（以下、雨花蘇寧電器）と仕入等に関する業務提携契約を締結いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

#### 記

#### 1. 業務提携の理由

当社は、平成 23 年 6 月 28 日付公表「資本業務提携の締結、第三者割当による新株式発行並びに親会社及び主要株主の異動に関するお知らせ」のとおり、当社の親会社となった蘇寧電器股份有限公司と資本業務提携を行い、また、中国本土で総合家電量販店を展開すべく、平成 23 年 11 月 11 日付公表「海外子会社設立手続き完了に関するお知らせ」のとおり、現地子会社設立を完了し、中国総合家電量販店第 1 号店となる「楽購仕生活広場 銀河 1 号店」12 月 31 日オープンに向けて鋭意準備を進めているところでございます。そこで、中国出店にあたって、現地での仕入等の業務については、当社の親会社である蘇寧電器股份有限公司との資本業務提携を進める一連のものとして同社の仕入流通網を共有することが業務効率上最適であり、かつ、当社の支配株主との取引等としても少数株主にとって不利益でないと判断されるため、今般設立した子会社のうち、仕入業務等を担う楽購仕（南京）商品採購が、蘇寧電器股份有限公司の分公司である蘇寧電器採購中心および蘇寧電器股份有限公司の子会社である雨花蘇寧電器と業務提携をすることといたしました。  
\*分公司・・本社が法律に基づいて設立し本社の名義を持って経営活動を単独で行う分支機構。詳細は下記 3. 注 1) をご確認ください。

#### 2. 業務提携の内容等

##### (1) 業務提携の内容

①商品の購入、配送、保証、保管、アフターサービス業務

②上記①のサービスを受ける対価として 2～3%の仕入価格の上乗せ

\* 2社とも同じ提携内容となっております。なお、蘇寧電器採購中心は伝統的白物家電を雨花蘇寧電器はOA・情報通信機器を中心に取り扱いをいたします。

#### 3. 業務提携の相手先の概要

(1) 名 称	蘇寧電器股份有限公司南京採購中心	*注 1) 参照
(2) 所 在 地	中国江蘇省南京市鼓楼区山西路 8 号金山大厦 8 階	
(3) 代表者の役職・氏名	責任者 金明	
(4) 事 業 内 容	電器製品等の開発・販売等	
(5) 資 本 金	該当なし	*注 1) 参照
(6) 設 立 年 月 日	2004 年 12 月 17 日	
(7) 大株主及び持株比率	該当なし	*注 2) 参照

(8) 上場会社と当該会社との間の関係	資本関係	当社と当該会社との間には、記載すべき資本関係はありません。蘇寧電器股份有限公司は当社株式を GRANDA MAGIC LIMITED 及び香港蘇寧電器有限公司を通じて間接的に 51.0%所有しております。
	人的関係	当社と当該会社との間には、記載すべき人的関係はありません。蘇寧電器股份有限公司から 4 名の取締役が派遣されております。
	取引関係	当社と当該会社との間には、記載すべき取引関係はありません。
	関連当事者への該当状況	当該会社は、当社の関連当事者には該当しません。

(9) 当該会社の最近3年間の連結経営成績及び連結財政状態 \*注3)

決算期	平成 20 年 12 月期	平成 21 年 12 月期	平成 21 年 12 月期
連結純資産	8,776 百万人民元 115,580 百万円	14,540 百万人民元 195,854 百万円	18,338 百万人民元 225,374 百万円
連結総資産	21,619 百万人民元 284,722 百万円	35,840 百万人民元 482,765 百万円	43,907 百万人民元 539,617 百万円
1株当たり連結純資産	2.93 人民元 35.58 円	3.12 人民元 42.02 円	2.62 人民元 32.20 円
連結売上高	49,897 百万人民元 657,144 百万円	58,300 百万人民元 785,301 百万円	75,505 百万人民元 927,957 百万円
連結営業利益	2,964 百万人民元 39,036 百万円	3,875 百万人民元 52,196 百万円	5,432 百万人民元 66,759 百万円
連結経常利益	2,951 百万人民元 38,865 百万円	3,926 百万人民元 52,883 百万円	5,402 百万人民元 66,391 百万円
連結当期純利益	2,170 百万人民元 28,579 百万円	2,890 百万人民元 38,928 百万円	4,012 百万人民元 49,308 百万円
1株当たり連結当期純利益	0.49 人民元 6.45 円	0.64 人民元 8.62 円	0.57 人民元 7.01 円
1株当たり配当金	0.08 人民元 1.05 円	0.05 人民元 0.67 円	0.10 人民元 1.23 円

注1) 蘇寧電器採購中心は、分公司として中国工商管理总局の定める営業許可を取得しております。よって、独立した資産は有せず、営業活動で生じる債権債務および財産はすべて蘇寧電器股份有限公司に属します。

注2) 注1と同様の理由により、蘇寧電器採購中心は単独で株主を有しません。蘇寧電器股份有限公司の大株主及び持株比率は、平成23年3月31日現在で、張近東(27.90%)、蘇寧電器集团有限公司(13.47%)、陳金鳳(2.81%)、金明(1.72%)、広発聚豊股票型証券投資基金(1.54%)となっております。

注3) 注1と同様の理由により、蘇寧電器股份有限公司の経営成績を記載しております。

注4) 注3の数値は、1人民元を、平成20年12月期は、平成20年12月30日終値13.17円、平成21年12月期は、平成21年12月30日終値13.47円、平成22年12月期は、平成22年12月30日終値12.29円にて換算し、小数点以下第三位を四捨五入しています。

(1) 名 称	南京雨花蘇寧電器有限公司		
(2) 所 在 地	中国江蘇省南京市雨花台区龍藏大道2号		
(3) 代表者の役職・氏名	責任者 金明		
(4) 事 業 内 容	電器製品等の開発・販売等		
(5) 資 本 金	1000 万元		
(6) 設 立 年 月 日	2011年7月22日		
(7) 大株主及び持株比率	蘇寧電器股份有限公司 90%、江蘇蘇寧地鐵商業管理有限公司 10%		
(8) 上場会社と当該会社との間の関係	資 本 関 係	当社と当該会社との間には、記載すべき資本関係はありません。雨花蘇寧電器の親会社である蘇寧電器股份有限公司は当社株式を GRANDA MAGIC LIMITED 及び香港蘇寧電器有限公司を通じて間接的に 51.0%所有しております。	
	人 的 関 係	当社と当該会社との間には、記載すべき人的関係はありません。雨花蘇寧電器の親会社である蘇寧電器股份有限公司から4名の取締役が派遣されております。	
	取 引 関 係	当社と当該会社との間には、記載すべき取引関係はありません。	
	関 連 当 事 者 へ の 該 当 状 況	当該会社は、当社の関連当事者には該当しません。	
(9) 当該会社の最近3年間の連結経営成績及び連結財政状態	*注5)		
	決算期	平成23年12月期	
連 結 純 資 産		—	
連 結 総 資 産		—	
1株当たり連結純資産		—	
連 結 売 上 高		—	
連 結 営 業 利 益		—	
連 結 経 常 利 益		—	
連 結 当 期 純 利 益		—	
1株当たり連結当期純利益		—	
1株当たり配当金		—	

注5) 雨花蘇寧電器は平成23年7月22日に設立され、決算期は12月のため経営成績及び財政状態の記載を省略しております。

(参考) 蘇寧電器股份有限公司の概要

平成22年12月31日現在

① 名 称	蘇寧電器股份有限公司		
② 所 在 地	中国江蘇省南京市山西路8号金山大厦1-5層 (上記の所在地は登記上の住所であり、本社所在地は中国江蘇省南京市玄武区蘇寧大道1号になります。)		
③ 代表者の役職・氏名	董事長※ 張 近東 ※日本の代表取締役会長に該当		
④ 事 業 内 容	家電販売事業		
⑤ 資 本 金	6,996,212千人民币元		
⑥ 設 立 年 月 日	2001年6月29日		

⑦ 発行済株式数	6,996,211,866株	
⑧ 決算期	12月末	
⑨ 従業員数(親会社)	6,398名	
⑩ 主要取引先	HAIER、MIDEA、HISENSE、TCL、SONY、SHARP、Panasonic、SAMSUNG、LG、NOKIA、SIEMENSなど	
⑪ 主要取引銀行	華夏銀行、中国建設銀行、交通銀行	
⑫ 大株主及び持株比率 (2011年3月31日)	張近東(27.90%)、蘇寧電器集団有限公司(13.47%)、陳金鳳(2.81%)、 金明(1.72%)、広発聚豊股票型証券投資基金(1.54%)	
⑬ 当社との 関係等	資本関係	GRANDA MAGIC LIMITED及び香港蘇寧電器 有限公司を通じて、当社普通株式の 34.28%を間接保有しております。
	取引関係	当社より商品を輸入しております。
	人的関係	当社に取締役4名を派遣しております。
	関連当事者への 該当状況	該当事項はありません。
⑭ 最近3年間の経営成績及び財務状態	上記3(9)を参照	

#### 4. 日程

(1) 当社取締役会	平成23年12月26日
(2) 業務提携契約締結	平成23年12月26日

#### 5. 今後の見通し

当該子会社の業務提携による今期業績への直接的影響は軽微です。平成23年5月13日付「特別利益及び特別損失の計上並びに業績予想の修正に関するお知らせ」で公表している今期売上高見通し110億円には、平成23年6月28日付「中期経営計画の修正に関するお知らせ」に公表している、中国本土での中国出店を2011年度内に2店新規出店し売上高を7億円という目標数値は加味されておられません。なお、本日現在の見通しとして2011年度内の出店は1店になる見込みです。

また、平成23年6月28日付「中期経営計画の修正に関するお知らせ」に公表している2012年度内に8店、2013年度内に20店という目標数値に関しての変更はありません。

当社は経営計画達成にむけて順調に取り組んでおりますが、本数値はいずれも、現時点で入手可能な予想数値となっているため、今後、当該目標とは大幅に異なる見込みとなる等の業績に重大な影響を与えることが判明した場合には、速やかにお知らせいたします。

#### 6. 支配株主との取引等に関する事項

本取引は、支配株主との取引等に該当します。当社が、平成23年12月5日に開示したコーポレート・ガバナンス報告書で示している「支配株主との取引等を行う際における少数株主の保護方針に関する指針」に基づき、当該取引に関しての必要性と法令上問題がないことを当社業務執行上の会議体及び取締役会にて十分に協議し、かつ、支配株主との利害関係のない者である社外監査役2名全員による意見書の提出も受け、本取引が少数株主にとって不利益なものでないとの判断にいたりしました。

当社グループが中国で店舗展開を行うにあたり、蘇寧電器股份有限公司の知名度とそのネットワークを活かし展開していくことは、企業価値を高めるだけでなくひいては株主価値も高めることと考えます。蘇寧電器股份有限公司の知名度やネットワークを活用するという方針は、平成23年6月28日の「資本業務提携の締結、第三者割当による新株式発行並びに親会社及び主要株主の異動に関するお知らせ」においても公表している方針であり、かつ、契約条件についても他社との取引条件を鑑みても通常の取引とかわるものではありません。

よって、当該取引は上記保護方針と適合するものと判断しております。

上記判断にあたっては、支配株主との利害関係のない者である当社社外監査役から平成23年12月20日付で、当該取引が少数株主にとって不利益なものでないことに関する意見書を入手しております。その概要は、業務提携の目的及び内容に関して、取引内容、取引の条件に何ら問題がないということ、当該取引に関しては当社の企業価値の向上に資すること、当該取引に係る交渉過程等において問題は認められないこと、下記に示されている公正性を担保するための措置及び利益相反を回避するための措置を踏まえ、当該取引が少数株主にとって不利益なものでないとの意見であります。

なお、平成23年12月5日に開示したコーポレート・ガバナンス報告書で示している「支配株主との取引等を行う際における少数株主の保護の方針に関する指針」は以下のとおりです。

「当社グループは、蘇寧電器グループと協力関係を保ちながら事業を展開していく方針ではありますが、一方で、当社は上場企業として独立した経営管理体制と独自の経営戦略に基づく運営を維持しております。親会社である蘇寧電器との取引を行う場合は、当該取引の必要性や当該取引条件が法令上問題ないこと等を社内機関で十分に検証した上で、第三者から意見を求めることで少数株主の保護に努めております。」

また、公正性を担保するための措置としては、八重洲法律事務所藤井幹晴弁護士に当該契約書案を提示し、対価の公正性等取引条件に関し、製品の供給価格は、原則として、当社100%子会社楽購仕（南京）商品採購の本業務提携先である2社（蘇寧電器採購中心、雨花蘇寧電器）が他の取次販売企業に供する製品供給価格よりも高いものであってはならないこととされ、当該2社が楽購仕（南京）商品採購にある価格で製品供給を行った後、その製品供給価格が割高であることが証明された場合、当該2社は楽購仕（南京）商品採購に相応の補償を行うとされていることから、公正性を害するものではなく、公正性を担保するための措置が講じられている旨、同弁護士から参考意見を取得しております。加えて、利益相反を回避するための措置として、当該契約締結先である蘇寧電器股份有限公司の社員でもある当社取締役4名（蔣勇、卜揚、王哲、韓楓）は決議に参加しておりません。

\*当社の「第三者」の定義は、当社社外監査役及び顧問弁護士事務所所属弁護士以外の弁護士事務所弁護士をさします。

\*八重洲法律事務所藤井幹晴弁護士からの参考意見の概要は、当該取引の目的、対価の公正性等諸点を総合的に考慮するならば、少数株主にとって不利益とは認められないとなっております。

(参考) 当期連結業績予想 (平成23年5月13日公表分) 及び前期連結実績

	連結売上高	連結営業利益	連結経常利益	連結当期純利益
当期連結業績予想 (平成23年12月期)	11,000	△990	△985	△1,333
前期連結実績 (平成22年12月期)	9,431	△243	△184	△49

\*前期 (平成22年12月期) は決算期変更の為9カ月決算となっております。

以上